年間授業計画

第四商業高等学校

教科：　商業　　科目　課題研究（コンピュータデザイン系）　　単位数：　３　単位

◆対象学年組：第３学年　Ａ　組～E組
◆使用教科書（　なし　）
◆教科　　商業　　の目標：

【知識及び技能】：　商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】：　ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】：　職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目　　課題研究（コンピュータデザイン系）　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・静止画・動画デザイン理に関する知識と技能を習得させ、各種メディアで作成した情報を統合させ、情報を効果的に発信する能力と態度を育てる。 ・コンピュータを活用してビジネス情報を創造的に表現し、分かりやすく説得力のある作品を制作するための知識と技術を習得させる。	コンピュータデザイン作成の知識、技術を活用し、課題作品を自ら発想しクライアントの要望に応える作品づくりをおこなう。	課題作品にたいするコンセプトを的確に捉え。作品を用いてクライアントのコミュニケーションをとる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	コンピュータデザイン作成のための基礎知識 使用ソフトウェアの基礎知識	年間を通して学ぶ動画データの扱いについてその基礎を学ぶ	コンピュータデザイン作品作成のための基礎知識と作品作成のためのソフトウェア基本操作を習得できたか	○	○	○	10
1学期	外部団体コンペ作品作成 【課題例】 ・自分の好きな曲に合わせた動画「ミュージッククリップ」を制作する。 ・制作にあたっては、企画→立案（絵コンテ）→撮影→編集→評価のサイクルを経験する。 ・日々の暮らしの中で、気になるマナーを決めてそれに対する啓発動画「マナー広告」を制作する。 ・規定の範囲内で作品を制作する。	・導入で、様々な分野の動画作品を紹介する。 ・ＣＭ制作を例にとり、①作品作りのコンセプト②企画の決定③撮影④編集・試写⑤完成品の納品といった制作過程についてメモを取りながら指導していく。 ・各自で選択したＣＭについて調査研究する。 「絵コンテ」「作品のコンセプト」等を分析し、それぞれをレポートとしてまとめる力をつける。 ・メディアにおける広告活動について学習する。具体的にテーマを決め、消費者に購買の意欲を湧かせたり、メッセージを伝えるようなＣＭを制作する。 ・制作にあたっては、チームを決め、企画→立案（絵コンテ）→撮影→編集→評価サイクルを経験する。 ・「著作権」や「プライバシーの保護」など情報モラルの必要性や個人情報のセキュリティ保護の基本を学習させる。 ・映像上での表現方法や慣用表現について、その注意点とともに広く学習させる。	・コンピュータデザイン系ソフトウェアの活用について主体的に関心を持つ。情報収集、処理する実践的な態度を身につけている。 ・コンピュータデザイン系ソフトウェア技術の活用について思考を深め、知識技能を活用する。 ・コンピュータデザイン系ソフトウェア技術に関する基礎・基本的な技術を身に着けている。 ・コンピュータデザイン系ソフトウェア技術に関する基礎・基本的な知識を身につけ、ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解している。	○	○	○	30
2学期				○	○	○	14
2学期				○	○	○	10
3学期	課題研究発表会	・課題研究発表会（2年生向け）		○	○	○	11
						合計	75

年間授業計画

第四商業高等学校（３学年用）

教科：　ビジネス　　科目　課題研究　ソーシャルビジネス系　　単位数：　３　単位

◆対象学年組：第　３ 学年　Ａ　組～　Ｅ　組

◆使用教科書：　（　なし　）

◆教科:　ビジネス　の目標：

【知　識　及　び　技　能】：商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】：ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】：職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目　課題研究　ソーシャルビジネス系　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①様々な社会問題について考察し、利益の追求と社会貢献を両立させるソーシャルビジネスを理解する。 ②身近な社会問題を理解し、グループ考察できる。また、資料にまとめて発表できる。	①国内外の社会で起こっていることを把握し、課題を見つけて企画立案ができる。 ②社会問題に対する理解を深め、問題点や解決策を考えることができる。企画したビジネスに関して、具体的な根拠（数値データ等）を示すことができる。	課題に対して積極的に取り組み、また、グループワークを通して、積極的に意見を述べることや提案すること、仲間と協力することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Ａ ソーシャルビジネスの基礎知識 【知識及び技能】 ソーシャルビジネスに関連する基礎知識を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会問題を自分事としてとらえて考えることができるよう、自分自身と社会とのつながりを考える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 社会問題に関心をもち、考察を深めたり改善したりしようとする態度や創造性を養う。	・ＮＰＯとボランティア ・ＣＳＲ、サステナビリティ ・グラミン銀行 ・調べ学習やレポート作成 ・マインドマップ ・地域商店街へのフィールドワーク	【知識・技能】 学習したことや調べたことを文章化しまとめることができる。 【思考・判断・表現】 マインドマップやコラージュを通して自分自身を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意見を積極的に発言し、課題提出ができる。	○	○	○	10
	Ｂ 国際理解と開発途上国 【知識及び技能】 世界の社会問題の現状に関する知識を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 現状を解決するためのアイデアを表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 社会問題に関心をもち、考察を深めたり改善したりしようとする態度や創造性を養う。	・難民 ・ＢＯＰビジネス ・フェアトレード ・児童労働 ・ＯＤＡ	【知識・技能】 難民、ＢＯＰ、フェアトレード、児童労働、ＯＤＡについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の現状を調査し、まとめ、考えを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出や発表活動を行うことができる。	○	○	○	17
	期末考査			○	○		1
2学期	Ａ ＳＤＧｓに関する基礎知識 【知識及び技能】 ＳＤＧｓの知識、社会問題とのつながりを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会問題の解決に向け、自分の意見をまとめる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 社会問題に関心をもち、考察を深めたり改善したりしようとする態度や創造性を養う。	・ＭＤＧｓ ・ＳＤＧｓ ・ＳＤＧｓの調査、発表	【知識・技能】 ＳＤＧｓについて理解している。 【思考・判断・表現】 企業のＳＤＧｓに対する取り組み等を調査し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題について積極的に調査することができる。	○	○	○	13
	Ｂ ソーシャルビジネスの創造 【知識及び技能】 プランニングの技法について理解し、実践する力を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 マインドマップやブレインストーミングを活用し、アイデアを出すことができ、また、適切に資料を作成し、アイデアを表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 社会問題に関心をもち、考察を深めたり改善したりしようとする態度や創造性を養う。	・マインドマップ ・ブレインストーミング ・現状分析 ・先行事例調査 ・ターゲティング ・ビジネスモデル ・プレゼンテーション	【知識・技能】 社会問題について理解している。 【思考・判断・表現】 自らのアイデアについて具体的な根拠を示し企画することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動において自分の役割を把握し、作業することができる。	○	○	○	20
3学期	Ｂ ソーシャルビジネスの創造 【知識及び技能】 プランニングの技法について理解し、実践する力を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 マインドマップやブレインストーミングを活用し、アイデアを出すことができ、また、適切に資料を作成し、アイデアを表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 社会問題に関心をもち、考察を深めたり改善したりしようとする態度や創造性を養う。	・マインドマップ ・ブレインストーミング ・現状分析 ・先行事例調査 ・ターゲティング ・ビジネスモデル ・プレゼンテーション	【知識・技能】 社会問題について理解している。 【思考・判断・表現】 自らのアイデアについて具体的な根拠を示し企画することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動において自分の役割を把握し、作業することができる。	○	○	○	10
							合計 71

年間授業計画

第四商業高等学校（３学年用）

教科：　ビジネス　　科目　課題研究　ビジネスアイデア系　　単位数：　３　単位

◆対象学年組：第　３ 学年　Ａ　組～　Ｅ　組

◆使用教科書：　（　なし　）

◆教科:　ビジネス　の目標：

【知　識　及　び　技　能】：商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】：ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】：職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目　課題研究　ビジネスアイデア系　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な知識を主体的に学び、創造的な力につなげる	様々な事象について主体的に考え判断し、創造的な力につなげる	多様性を受け入れ、対話力を向上させる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・自己の興味関心のある事柄について探究させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の興味関心のある事柄について探究させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己のキャリアと探究事項の関連性を考える。	・調べ学習やレポート作成 ・生成ＡＩ等のデジタル活用技術 ・国際問題、社会問題などと探究課題の関係性	【知識・技能】 探究した内容を言語化できる。 【思考・判断・表現】 探究した内容を創造的に構成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究した内容を言語化し、新たな課題を見つけることができる。	○	○	○	36
2学期	【知識及び技能】 ・1学期の探究したことがらを発展させ探究を継続する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・1学期の探究したことがらを発展させ探究を継続する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己のキャリアにおける1学期の探究内容の関連性を	・調べ学習やレポート作成 ・生成ＡＩ等のデジタル活用技術 ・国際問題、社会問題などと探究課題の関係性	【知識・技能】 探究した内容を言語化できる。 【思考・判断・表現】 探究した内容を創造的に構成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究した内容を言語化し、新たな課題を見つけることができる。	○	○	○	51
3学期	【知識及び技能】 ・1年間の探究結果をまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・1年間の探究結果を創造的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己のキャリアとの関連について探究させる	・調べ学習やレポート作成 ・生成ＡＩ等のデジタル活用技術 ・国際問題、社会問題などと探究課題の関係性	【知識・技能】 探究した内容を言語化できる。 【思考・判断・表現】 探究した内容を創造的に構成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究した内容を言語化し、新たな課題を見つけることができる。	○	○	○	18
							合計 105

年間授業計画

第四商業高等学校 （３学年用）

教科： 商業　　科目：課題研究ビジネスコミュニケーション系　　単位数： ３ 単位

◆対象学年組：第３ 学年 Ａ 組～E組

◆使用教科書（　　）

◆教科　商業　の目標：

【知 識 及 び 技 能】： 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】： ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】： 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目　課題研究ビジネスコミュニケーション系　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。また、ビジネスマナーの知識及び技能を学び、将来社会人として役立つ技術を身に付けている。	コミュニケーションとして様々な知識、技術を活用し、コミュニケーションに関する課題を自ら発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、コミュニケーションが組織・人間関係・環境にどのような影響を与えるか、コミュニケーションに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決ことについて考えている。	コミュニケーションが持つ力について、自ら課題を発見し、ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、コミュニケーションの活用や発展に責任をもって取る組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	自己理解を深め、自分を表現する第一歩を踏み出す	オリエンテーション／自己紹介ワーク／自分の特性の棚卸し	・自己紹介に取り組む態度が見られる・自分についての説明ができる	○	○	○	10
	他者との関係性を通じて自己認識を広げる	ジョハリの窓／他己紹介ワーク／価値観マップ作成	・自己と他者の違いに気づき、理解しようとしている・自己理解の深まりが見られる	○	○	○	10
	振り返り			○	○		1
	ビジネスに必要な基本的コミュニケーションスキルを理解し実践する	名刺作成／名刺交換演習／ノンバーバルコミュニケーションの体験	・名刺交換や非言語の使い方に取り組んでいる・相手を意識した行動ができている	○	○	○	10
	社会で働く人の話を通して、自分のキャリアについて考える	企業人事部講演／自己分析ワーク／職業理解	・講演内容をふまえ自らの将来について考えている・自分の強みや課題を表現している	○	○	○	10
	振り返り			○	○		1
2学期	聞く力・伝える力の基礎を体験的に学ぶ	傾聴トレーニング／伝言ゲーム／「伝える」難しさの実感ワーク	・傾聴の姿勢が見られる・伝え方・聞き方に意識を持って取り組んでいる	○	○	○	14
	意見を整理し、発信するための手法を学ぶ	KJ法／ブレインストーミング／プレゼン構成演習	・グループで協力してアイデアを出せている・意見をまとめる姿勢がある	○	○	○	10
	振り返り			○	○		1
	社会との接点を通じて主体的に学ぶ姿勢を育てる	商店街取材準備（質問作成・アポ取り練習）／インタビュー練習	・取材に向けて意欲的に準備を進めている・目的意識を持って活動している	○	○	○	10
	現場での体験を通じて実践的なコミュニケーションを行う	商店街取材／名刺交換／現地観察／インタビュー	・礼儀や態度に配慮した行動ができる・実際の会話に積極的に関わっている	○	○	○	10
	振り返り			○	○		1
3学期	情報を整理・構成し、わかりやすく伝える力を養う	商店街紹介プレゼン準備／スライド作成／発表練習	・取材内容をまとめ、プレゼン資料を作成している・発表に向けて主体的に準備している	○	○	○	11
	他者に伝えることで自己理解と表現力を深める	プレゼン発表／質疑応答対応／他者の発表を聞く	・聴衆を意識した発表ができている・他者の発表を尊重し、感想を述べている	○	○	○	5
	1年間の学びを振り返り、将来に向けての意識を高める	振り返りワーク／ポートフォリオ作成／キャリアプランシート記入	・学びの振り返りが丁寧に行われている・今後の進路に向けた思考が見られる	○	○		1
							合計 105

年間授業計画

第四商業高等学校 （３学年用）

教科： 商業　　科目：課題研究ビジネス広告系　　単位数： ３ 単位

◆対象学年組：第３ 学年 Ａ 組～E組

◆使用教科書（　　）

◆教科　　商業　　の目標：

【知 識 及 び 技 能】： 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】： ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】： 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目　　課題研究ビジネス広告系　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
広告について実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、広告に関する基礎的な知識と技術を身に付けている。また、色彩の知識及び技能を学び、広告つくりに役立つ技術を身に付けている。	ビジネス広告として様々な知識、技術を活用し、広告に関する課題を自ら発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、広告が市場にどのような影響を与えるか、広告に関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決ことについて考えている。	広告が持つ力について、自ら課題を発見し、ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、広告の活用や発展に責任をもって取る組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	広告とは	・広告の基本について講義形式の学習を行う ・広告の面白さについて調べる	・商業を学ぶ重要性と学び方、広告について理解している。 ・商業を学ぶこと及び広告の意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。 ・広告の基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	色彩の基礎	・色彩検定の内容に触れながら色の表し方について学ぶ	・色彩検定の内容について理解している。 ・色彩検定が求める表現力等について課題意識を持って取り組んでいる。 ・目標を決め、積極的な学習姿勢を持って取り組んでいる。	○	○	○	10
	振り返り			○	○		1
	POP広告	・工夫して制作	・POP広告について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・POP広告に関する課題を発見し、事例や根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・POP広告について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	ポスター広告	・工夫して制作	・ポスター広告の種類や関係する事項ついて、経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・ポスター広告に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・ポスター広告に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	振り返り			○	○		1
2学期	色彩心理 色彩調和	・色彩検定の内容に触れながら、色彩が人々に与えるイメージについて学ぶ	・色彩検定について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身についている。 ・色彩検定について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	外部団体コンペ①	・工夫して制作	・コマーシャルについて経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・コマーシャルに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・コマーシャルについて自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	振り返り			○	○		1
	外部団体コンペ②	・工夫して制作	・コマーシャルについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身についている。 ・コマーシャルに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・コマーシャルについて自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	作品品評	・色彩検定受験（11月） ・広告制作を選択した生徒の作品報告	・コマーシャルで伝えたいことをわかりやすく組み立てて、ビジネスの場面を考慮し、他者を含め広く社会との関係性について考えている。 ・情報を入手して活用し、評価・改善している。広告を通してビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	振り返り			○	○		1
3学期	課題研究発表会	・課題研究発表会（2年生向け）の工夫	・さまざまなビジネスの課題について理解している。 ・身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善を行っている。 ・身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	コンソーシアム　企業連携取組	・これまでの学習を総合的に使って、企業研究、集団学習、アウトプットの技術を振り返る	・身近なビジネスについて自ら学び、課題について主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	まとめ			○	○		1
						合計	105

年間授業計画 様式例

第四商業高等学校（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究(経営分析)

教 科： 商業　　科 目： 課題研究(経営分析)　　単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：（ なし ）

教科 商業 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】１、２年生で学習した簿記の知識を基に、決算書から企業の財務状況を分析し、判断・評価できる能力を身に付ける能力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を自ら発見し、企業の財務諸表を分析することで、職業人に求められる経営能力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】ビジネスの創造と発展を目指し、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶことで、職業人として豊かな人間性を育み、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究(経営分析) の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・企業の財政状態の健全性や経営成績のよしあしを判断できるようにするため、財務諸表分析の方法を理解し、分析結果を適切に判断していく能力を身に付ける。	・財務諸表を基に、安全性、収益性、成長性の視点から企業を比較分析することで、適切な経営方針の判断ができる力を養う。また、経済状況との関連についても考察できる能力を習得させる。	・ビジネスの創造と発展を目指し、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶことで、豊かな人間性を育み、主体的に取り組む態度を身に着ける。また、職業人に求められる倫理観や創造力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・財務分析を用いた経営分析の目的と方法・決算書の歴史、読み方 ・コロナ禍の経済状況の分析	・経営分析の目的を理解する。 ・コロナ禍における日本経済の現状を分析し、考察する方法を身に付ける。		○	○	○	10
	・安全性の分析	・経営分析に必要な指標の算出方法とその指標のもつ意味を十分に理解させる。	・企業の経営状態を安全性の指標から的確に分析、指摘できる。特に、安全性の分析についての習熟度を評価	○	○	○	10
	・授業内テスト		・授業内テストで評価	○	○		1
	・収益性の分析 ・成長性の分析	・財務資料の収集方法と企業の経営活動の分析、考察方法を理解させる。 ・数値のみの指導ではなく、現代企業を取り巻く諸問題と、各業種の経営上の特徴について考察できるように指導を行う。	・収益性の分析について習熟度を評価	○	○	○	10
	・財務諸表分析の研究	・小レポートの書き方を習得させ、財務分析の研究結果を小レポートにまとめさせ、グループごとに提出	・グループごとに提出した小レポートの内容の習熟度を評価基準とする。 ・現実の企業を分析する際、様々な資料から多面的に分析・考察することができるかを評価	○	○	○	10
	・授業内テスト		・授業内テストで評価	○	○		1
2学期	・事業分野の違いによる財務構成の違いについて ・各業種の特徴分析	・生徒にとって身近な企業の財務諸表を、企業間比較、時系列分析などの手法から分析を行えるようにする。 ・各自が調査研究したい企業、業種についてレポート作成に着手する。		○	○	○	10
	・優良企業の財務分析 ・倒産企業、粉飾決算企業の事例 ・研究課題レポート作成	・事業分野の違いによる財務構成の違いと特徴を理解させる。・優良企業、斜陽企業、倒産した企業の財務分析からそれぞれの特徴を理解し、研究レポート作成に活かす。	・学習した経営分析の手法を用いて、分析を行いその結果をレポートにまとめることができるかを評価	○	○	○	10
	授業内テスト		・授業内テストで評価	○	○	○	1
	・研究課題レポートの作成	・レポート作成時の(注)の付け方や、引用の仕方、参考文献のあげ方について確実に指導する。 ・レポート指導は、進捗状況を定期的に報告させ、適宜個別に助言を行う。	・現実の企業を分析する際、様々な資料から多面的に分析・考察することができているかを評価	○	○	○	11
	・研究課題レポートの作成	・分析指標の数字だけでなく、その企業を取り巻く様々な経営環境を意識した分析を学習する。	・出席、課題レポートの提出、授業中の様子などから総合的に評価	○	○	○	10
	・授業内テスト		・授業内テストで評価	○	○		1

3学期	・研究発表	・プレゼンテーションの技術、質疑応答の仕方を習得させる。 ・人に自分の研究を発表する作法を実践し、他人の発表に耳を傾け、質疑応答ができるようにする。	・発表の仕方と発表内容、質疑応答の仕方などから総合的に評価	○	○	○	10
	・経営分析に関する総合学習(まとめ)	・分析指標の数字だけでなく、その企業を取り巻く様々な経営環境を意識した分析を学習する。		○	○	○	10
							合計
							105

年間授業計画

第四商業高等学校（３学年用）

教科：　商業　　科目　　課題研究　情報総合系　　単位数：　３　単位

◆対象学年組：第　３　学年　Ａ　組　～　Ｅ　組

◆使用教科書（　令和07年 ITパスポートの新よくわかる教科書　）

◆教科:　　商業　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】：商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】：ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】：職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目　　課題研究　情報総合系　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「情報セキュリティーに関する知識」「情報コンプライアンスに関する知識」「ビジネス用語に関する知識」「会計・財務やマーケティング戦略など経営全般に関する知識」「より高度なIT部門に進むための共通的知識」を身に着ける。 「 データ管理スキル」「データ分析・活用スキル」「イノベーション創出スキル」「業務改善スキル」を身に着ける。	ＩＴパスポートの学習を進める過程で、情報社会に生きていく自分が、いかに思考して判断することで行動していくかを、常に意識するようにする。「学習の記録」を記述することで、自身の思考・判断が深まるように認識させることを目標とする。また、プレゼンテーションや，制作物を作成することで自分が何を学び取ったかという記述を具体的に表現する力を身に着ける。	「多角的に情報を検討しようとする態度」「試行錯誤し計画や改善しようとする態度」「責任をもって情報を適切に扱おうとする態度」を身に着ける。 また、情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に着ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元：ストラテジ系 企業と法務・経営戦略 【知識及び技能】経営戦略や情報戦略など、企業のビジネスとITを結びつけるための基本知識を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】経営戦略や情報戦略などの知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着ける 【学びに向かう力、人間性等】 経営戦略や情報戦略などの知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようにする	◇　企業活動と法務 １．企業活動　２．法務 ◇　経営戦略 １．経営戦略マネジメント　２．技術戦略マネジメント ３．ビジネスインダストリ	【知識及び技能】経営戦略や情報戦略など、企業のビジネスとITを結びつけるための基本知識を習得できたか 【思考力、判断力、表現力等】経営戦略や情報戦略などの知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着けられたか 【学びに向かう力、人間性等】 経営戦略や情報戦略などの知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるか	○	○	○	12
	単元：ストラテジ系 システム戦略 【知識及び技能】経営戦略を実現するために、ITをどのように活用するか、そのためにどのようなシステムを構築・導入する方針や方策の知識・技能を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】システム連略の知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着ける 【学びに向かう力、人間性等】 システム戦略の知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようにする	◇　システム戦略 １．システム戦略　２．システム企画	【知識及び技能】経営戦略を実現するために、ITをどのように活用するか、そのためにどのようなシステムを構築・導入する方針や方策の知識・技能を習得できたか 【思考力、判断力、表現力等】システム連略の知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着けられたか 【学びに向かう力、人間性等】 システム戦略の知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるか	○	○	○	12
	単元：マネジメント系 開発技術・プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント 【知識及び技能】企業が、経営資源（ヒト・モノ・カネ）を効率的に活用し、目標を達成する仕組みについて、その基本知識・技能を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】マネジメントの知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着ける 【学びに向かう力、人間性等】 マネジメントの知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようにする	◇　開発技術 １．システム開発技術　２．ソフトウェア開発管理技術 ◇　プロジェクトマネジメント １．プロジェクトマネジメント ◇　サービスマネジメント １．サービスマネジメント	【知識及び技能】企業が、経営資源（ヒト・モノ・カネ）を効率的に活用し、目標を達成する仕組みについて、その基本知識・技能を習得できたか 【思考力、判断力、表現力等】マネジメントの知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着けられたか 【学びに向かう力、人間性等】 マネジメントの知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようにするになったか	○	○	○	12
	定期考査（授業内で実施）	レポートおよびファイル提出・テーマごとの問題・課題作品提出		○	○		
2学期	単元：テクノロジ系 基礎理論・コンピュータシステム 【知識及び技能】情報を記録、処理、伝達するための仕組みやコンピュータやソフトウェア、ネットワークなどを組み合わせて情報を管理する基本知識を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】基礎理論やコンピュータシステムの知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着ける 【学びに向かう力、人間性等】 基礎理論やコンピュータシステムの知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようにする	◇　基礎理論 １．基礎理論　２．アルゴリズムとプログラミング ◇　コンピュータシステム １．コンピュータ構成要素　２．システム構成要素 ３．ソフトウェア　４．ハードウェア	【知識及び技能】情報を記録、処理、伝達するための仕組みやコンピュータやソフトウェア、ネットワークなどを組み合わせて情報を管理する基本知識を習得できたか 【思考力、判断力、表現力等】基礎理論やコンピュータシステムの知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着けられたか 【学びに向かう力、人間性等】 基礎理論やコンピュータシステムの知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようになったか	○	○	○	12
	単元：テクノロジ系 技術要素 【知識及び技能】情報処理における各種の要素、情報要素に関する基本知識を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】情報要素の知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着ける 【学びに向かう力、人間性等】 情報要素の知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようにする	◇　情報要素 １．情報デザイン　２．情報メディア ３．データベース　４．ネットワーク ５．セキュリティ	【知識及び技能】情報処理における各種の要素、情報要素に関する基本知識を習得できたか 【思考力、判断力、表現力等】情報要素の知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着けられたか 【学びに向かう力、人間性等】 情報要素の知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようになったか	○	○	○	14
	単元：システム設計・プログラム作成① 【知識及び技能】システム設計およびプログラム作成の基本知識を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】システム設計およびプログラム作成の知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着ける 【学びに向かう力、人間性等】 システム設計およびプログラム作成の知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようにする	◇　Excel VBAを利用したシステム作成 １．ＶＢＡの基礎 ２．記録マクロの利用 ３．さまざまなコントロール ４．ワークシートを便利にするマクロ ５．コントロールを利用したマクロ ６．簡単なシステムの作成	【知識及び技能】システム設計およびプログラム作成の基本知識を習得できたか 【思考力、判断力、表現力等】システム設計およびプログラム作成の知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着けることができたか 【学びに向かう力、人間性等】 システム設計およびプログラム作成の知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようになったか	○	○	○	25
	定期考査（授業内で実施）	レポートおよびファイル提出・テーマごとの問題・課題作品提出		○	○		
3学期	単元：システム設計・プログラム作成② 【知識及び技能】システム設計およびプログラム作成の基本知識を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】システム設計およびプログラム作成の知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着ける 【学びに向かう力、人間性等】 システム設計およびプログラム作成の知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようにする	◇　Excel VBAを利用したシステム作成 １．ＶＢＡの基礎 ２．記録マクロの利用 ３．さまざまなコントロール ４．ワークシートを便利にするマクロ ５．コントロールを利用したマクロ ６．簡単なシステムの作成	【知識及び技能】システム設計およびプログラム作成の基本知識を習得できたか 【思考力、判断力、表現力等】システム設計およびプログラム作成の知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力を身に着ける。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力を身に着けることができたか 【学びに向かう力、人間性等】 システム設計およびプログラム作成の知識・技能を自らの発想で現在また未来の社会で適用できるようになったか	○	○	○	18
	定期考査（授業内で実施）	レポートおよびファイル提出・テーマごとの問題・課題作品提出		○	○		
						合計	105

年間授業計画

第四商業高等学校（3学年用）

教科：　商業　　**科目　課題研究　簿記会計上位知識系**　　単位数：　３　単位

◆対象学年組：３　学年　Ａ 組～　Ｅ 組

◆使用教科書：（ なし ）

◆教科: 商業 の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】： 商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】： ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】： 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目　課題研究　簿記会計上位知識系　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 全商簿記実務検定１級会計及び日商簿記検定２級合格を目指す。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・税効果会計 ・財務諸表分析	・税効果会計とは、企業会計上の利益計算と税法上の所得計算都の際による、税引き利益と税額との対応関係のゆがみを調整することである。 　課税対象となる益金と損金が会計上の利益と損失と全く一緒ではないことを理解させる。そのための手続きであることを理解させる。 ・財務諸表分析の意味と方法を理解させる。 財務諸表分析(安産性の分析、収益性の分析、効率性の分析、成長性の分析)について理解させる。	【知識・技能】 税効果会計に必要な知識を身に付けたか。 財務諸表分析に必要な知識を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 税効果会計保必要性を考えようとしたか。 財務諸表分析の結果を正しく考え、安全性・収益性・高利率性・成長性の判断を試行できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 税効果会計と財務諸表分析関心を持ち、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	10
1学期	・連結財務諸表	・財務諸表の意味を理解させる。 ・連結財務諸表の意味と作成目的を理解させる。 ・親会社と子会社の意味を理解させる。 ・連結財務諸表のがどのように活用されているのかを理解させる。	【知識・技能】 ・財務諸表分析の意味と方法について、その内容を理解し、習得したか。 ・連結財務諸表の意味とサック製目的について、その内容を理解し、習得したか。 【思考・判断・表現】 ・財務諸表の活用がなぜ必要かを考えたか。 ・財務諸表分析の意味と役割を考え、適切な分析を考えたか。 ・財務諸表分析の方法に思考を高め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して活用して適切に判断して学習を進めているか。 ・連結財務諸表の活用に関して、自らの思考を深め基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・財務諸表の活用に関心を高め、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・財務諸表分析の意味と役割に興味を持ち、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	10
1学期	日商簿記2級の問題演習 ・第1問　仕訳問題対策	・資格取得に向けて、演習問題を解かせる。 ・学習した内容と実務との関連を調査研究する。	【知識・技能】 ・株式の発行、剰余金の配当と処分、合併と無形固定資産、法人税と消費税、商品売買等、手形と電子記録債権・債務、そのたの債権譲渡、銀行関係調整表、固定資産、リース契約、研究開発費とソフトウェアについて理解でき仕訳処理が正しく行えるか。 【思考・判断・表現】 ・株式の発行、剰余金の配当と処分、合併と無形固定資産、法人税と消費税、商品売買等、手形と電子記録債権・債務、そのたの債権譲渡、銀行関係調整表、固定資産、リース契約、研究開発費とソフトウェアについて会計処理に関して自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断でいるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・株式の発行、剰余金の配当と処分、合併と無形固定資産、法人税と消費税、商品売買等、手形と電子記録債権・債務、そのたの債権譲渡、銀行関係調整表、固定資産、リース契約、研究開発費とソフトウェアについて関心を高め、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・上記の項目について意味と種類に関心を高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	10
1学期	日商簿記2級の問題演習 ・第1問　仕訳問題対策	・資格取得に向けて、演習問題を解かせる。 ・学習した内容と実務との関連を調査研究する。	【知識・技能】 ・有価証券、リース会計、研究開発費とソフトウェア、有価証券、引当金、外貨換算会計、税効果会計、収益認識の基準について理解が出来仕訳処理が正しく行えるか。 【思考・判断・表現】 ・有価証券、リース会計、研究開発費とソフトウェア、有価証券、引当金、外貨換算会計、税効果会計、収益認識の基準について自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・有価証券、リース会計、研究開発費とソフトウェア、有価証券、引当金、外貨換算会計、税効果会計、収益認識の基準について関心を高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	9
2学期	日商簿記2級の問題演習 ・第2問　個別論点と連結会計対策	・資格取得に向けて、演習問題を解かせる。 ・学習した内容と実務との関連を調査研究する。	【知識・技能】 ・株主資本等変動計算書、商品売買、銀行勘定調整表、有価証券、リース資産、有形固定資産、外貨建取引、本支店会計、課税所得の算定、税効果会計、合併について、その内容を理解させ習得したか。 【思考・判断・表現】 ・株主資本等変動計算書、商品売買、銀行勘定調整表、有価証券、リース資産、有形固定資産、外貨建取引、本支店会計、課税所得の算定、税効果会計、合併について、自らに思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・株主資本等変動計算書、商品売買、銀行勘定調整表、有価証券、リース資産、有形固定資産、外貨建取引、本支店会計、課税所得の算定、税効果会計、合併について関心を高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	12
2学期	日商簿記2級の問題演習 ・第3問　決算問題対策	・資格取得に向けて、演習問題を解かせる。 ・学習した内容と実務との関連を調査研究する。	【知識・技能】 ・精算表、決算整理後残高試算表、損益計算書、貸借対照表、本支店会計について、その内容を理解し作成技術を習得したか。 【思考・判断・表現】 ・精算表、決算整理後残高試算表、損益計算書、貸借対照表、本支店会計について、合併について、自らに思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・精算表、決算整理後残高試算表、損益計算書、貸借対照表、本支店会計について、関心を高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	12

		日商簿記2級の問題演習 ・第4問　工業簿記対策	・資格取得に向けて、演習問題を解かせる。 ・学習した内容と実務との関連を調査研究する。	【知識・技能】 ・材料費、労務費、工場会計の仕訳について、その内容を理解し、習得したか。 ・財務諸表、部門別原価計算、個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算その内容を理解し、習得したか。 【思考・判断・表現】 ・材料費、労務費、工場会計の仕訳について、高め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して活用して適切に判断して学習を進めているか。 ・材料費、労務費、工場会計の仕訳について、自らの思考を深め基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・材料費、労務費、工場会計の仕訳について、関心を高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	9
		日商簿記2級の問題演習 ・第5問　原価計算対策	・資格取得に向けて、演習問題を解かせる。 ・学習した内容と実務との関連を調査研究する。	【知識・技能】 ・標準原価計算(再分析）、直接原価計算、ＣＶＰ分析について、その内容を理解し、習得したか。 【思考・判断・表現】 ・標準原価計算(再分析）、直接原価計算、ＣＶＰ分析について、高め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して活用して適切に判断して学習を進めているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・標準原価計算(再分析）、直接原価計算、ＣＶＰ分析について、関心を高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	9
	3学期	会計に関する総合学習	会社法、財務分析、粉飾決算、監査などについて、調べ学習、発表をさせる。	【知識・技能】 ・これまで学んだ簿記の記帳技術だけでなく、簿記会計に関する事柄を自ら調べ知識を広げられたか。 ・発表する技術を習得したか。 【思考・判断・表現】 ・これまで得られた簿記の知識技能に関して、自らの思考を深め基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・簿記に関する総合学習に関心を高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	9